

園外との交流

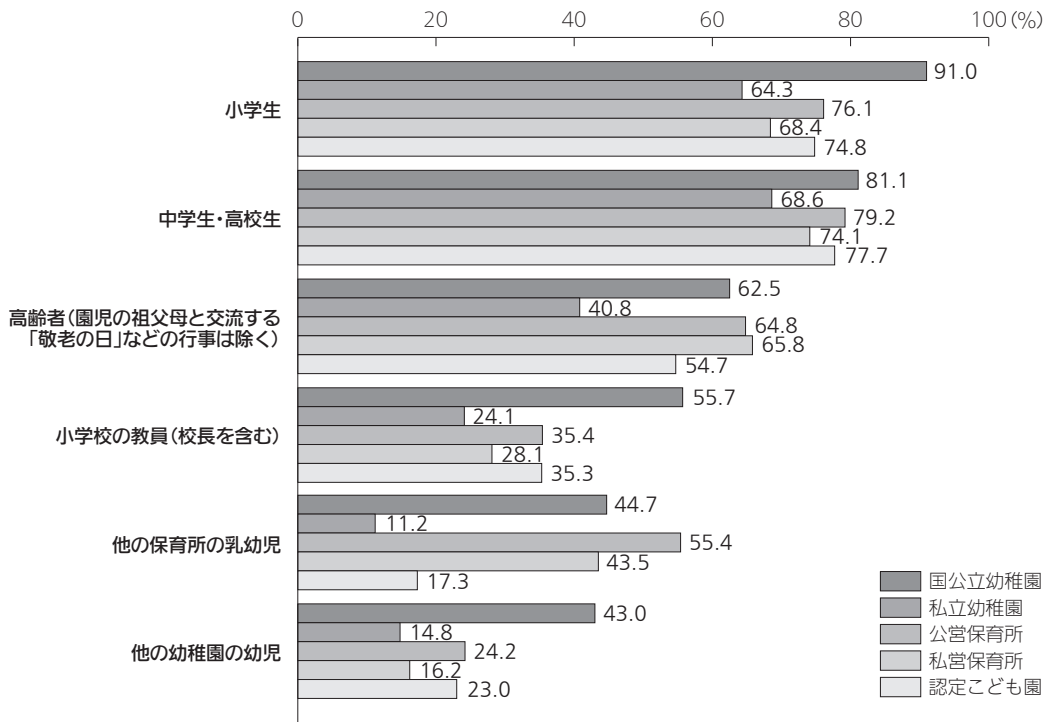
園児の園外のさまざまな人たちと計画的な交流活動を行っている。特に「小学生」や「中学生・高校生」との交流がどの園でも6割～9割の選択率である。また全般的に国公立幼稚園のほうが選択率が高いことがわかる。

子どもの心身の発達を促すには、さまざまな人との関わりをもちながら、多様な体験をすることが大切である。特に子どもたちにとっては身近な地域社会の人々との触れ合いがとても大切である。地域の自然、人材や施設などの地域の資源を活用することを通じて、子どもたちが豊かな生活体験などを得られる。

本調査では、園児の園外の人たちとの計画的な交流活動についてたずねている。複数回答で、「その他」を含めた11項目のうち、

上位の6項目をピックアップし、図2-6-1に示した。「他の保育所の乳幼児」では公営保育所がもっとも高い選択率（55.4%）であったほかは、全般的に国公立幼稚園で選択率が高く、特に「小学生」では9割、「中学生・高校生」では8割である。また私立幼稚園では「小学生」「中学生・高校生」との計画的な交流活動があるとの回答率は6割～7割弱で、それ以外は4割以下となる。私立幼稚園はほかの園に比べ、全般的に選択率が低い傾向がみられた。

図2-6-1 園児の園外の人たちとの計画的な交流活動（園の区別別）



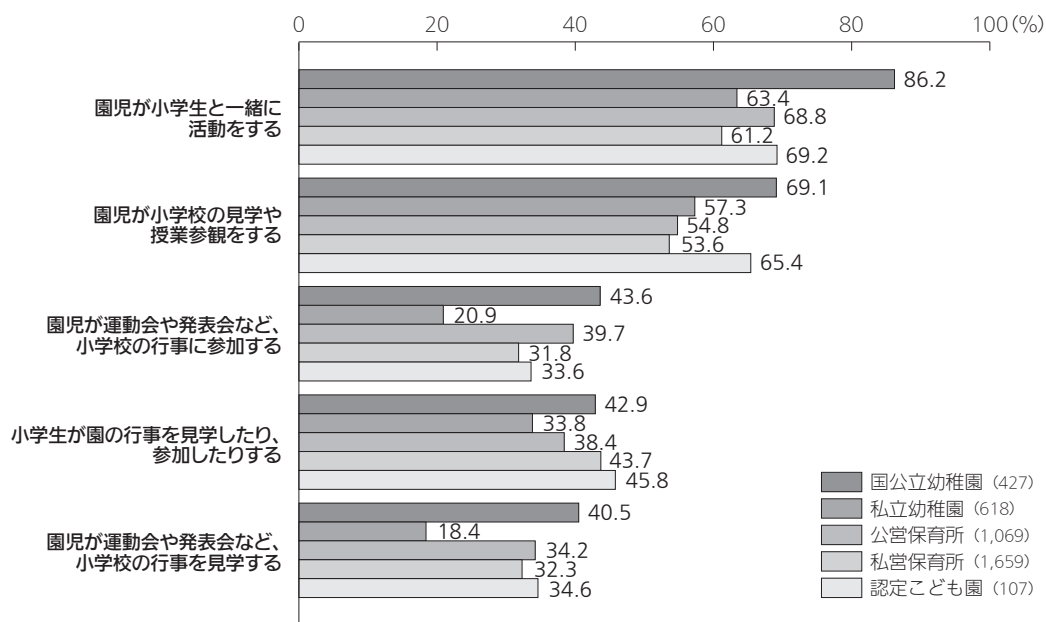
注1) 「その他」を含めた11項目のうち、上位6項目を図示。
 注2) 複数回答。

第2章 保育・教育的な活動

ここで「小学生」「小学校の教員（校長を含む）」との計画的な交流があると回答した園に対して、さらに実際にどのような交流や活動の場があるのかに関して、複数回答で「その他」を含めた9項目について聞いてみた。そのうち、5項目の結果を図2-6-2にまとめた。

どの園でも5割以上の選択率を得られたのは「園児が小学生と一緒に活動をする」「園児が小学校の見学や授業参観をする」である。また国公立幼稚園が一般的に小学校や小学生とさまざまな交流をし、活動の場を設けていることがわかる。

図2-6-2 園児と小学生や小学校教員の交流（園の区分別）



注1) 「小学生」「小学校の教員（校長を含む）」のいずれかまたは両方に回答した園のみを分析。

注2) 「その他」を含めた9項目のうち、5項目を図示。

注3) 複数回答。

注4) ()内はサンプル数。